

会 議 録

名 称	北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会
議 題	黒崎副都心地区（第2期）
開催日時	平成29年12月14日（木）14：00～
開催場所	北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム
出席者	<p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一（九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授） 牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授） 東 恭子（第10期 北九州ミズ21委員会 委員） 横田きみよ（コンセプトピディア 代表）</p> <p>事後評価担当（事業課） 建築都市局 まちづくり推進課 検討会事務局 建築都市局 まちづくり推進課</p>
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 座長、構成員の紹介 3 事後評価制度の概要説明 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 当該地区について説明 「まちづくりの経緯説明」「事後評価手続き等」「今後のまちづくり」について (2) 事後評価手続き等にかかる検討 (3) 今後のまちづくりについて検討 5 事後評価検討会後のスケジュール 6 報告事項 7 閉会の挨拶
構成員の 主なご意見	<p>○事業課より、当該地区のまちづくりの経緯、事後評価手続き等、今後のまちづくりについて一括説明</p> <p>○事後評価手続き等にかかる検討 （成果の評価について） 横田 構成員 指標1（駅乗降客数）と2-1（中心商店街内の歩行者通行量）は、年平均減少率の半減を目標とし、指標2-2（ペDESTリアンデッキ上の歩行者通行量）は減少しないことを目標としているが、一方は減少すること、一方は減少しないこととした背景、理由は何か。</p> <p>事業課 指標1と2-1については、計画策定当初から設定していた指標で、これまでの</p>

下がり方の傾向を見たうえで、事業を行うことにより下がり方が半減することを目標に設定したものである。

指標 2-2 は、平成 27 年度の計画変更時に追加した指標で、その際に、ペDESTリアンデッキ整備の事業内容を見直したこともあり、下がらないことを目標に設定したものである。

牛房 構成員

指標 1 と 2-1 を半分に抑えるという目標の根拠はあるか。

事業課

決めうちで、半減することを目標に設定した。

横田 構成員

指標 2-1 の目標達成度の理由として、「昼間の商店街の回遊性向上には寄与しなかった」と書いているが、黒崎では最近、色々なイベントがあっいて、乾杯イベントでは商店街の通りに動けないくらい人が沢山いる写真も見た。夜は今までより活性化している、人通りが多くなっている等をいえるのであれば、補足してもよいのではないか。

また、このシートから、実際に頑張っている、にぎわっている姿があまり読み取れなかったため、多くの人が集まっている状況や、そのための取り組み等をどこかに記載できないか。

寺町 座長

イベント等の実施により、昼間はあまり効果がなかったにしても、夜に効果が出始めているとすれば、古き良き商店街というよりは、これからの黒崎の活性化を考える際に大事だと思うので、積極的に成果として記載した方がよいのではないか。

事業課

記載するよう検討する。

(効果発現要因の整理について)

寺町 座長

添付様式 4-②の関連事業の特定優良賃貸住宅・高齢者優良賃貸住宅と北九州住まい支援事業が、何も効果を発現していないことになっているがよいか。

事業課

これらは外から入ってくる人に対して補助を行う事業であるが、計画期間内に事業を活用した人がいなかったため、「-」とした。

牛房 構成員

「△」の方が適切ではないか。

事業課

「△」に修正する。

寺町 座長

基幹事業の撥川景観整備と、関連事業の撥川の再整備で、指標に対する評価が全

く違うが、この評価でよいか。

事業課

撥川景観整備については、都市再生整備計画の中で照明灯を11基整備する事業で、関連事業の撥川の再整備については、河川事業において治水整備とともに多自然川づくりを行う大規模な事業であるため、評価に差が出ている。

寺町 座長

添付様式4-③で、達成できなかった指標の要因の分類をⅢとし、外的な要因で、予見が不可能な要因であったという評価自体は良いが、予見不可能だった要因はこうであったため、このようにフィードバックするという記載を入れた方がよいのではないか。

事業課

記載内容を再検討する。

横田 構成員

撥川の再整備について、指標3に◎の評価をつけているのであれば、総合所見の中でももう少し具体的に記載した方がよいのではないか。

事業課

記載内容を修正する。

(事後評価原案の公表について)

横田 構成員

SNSへの掲載は今回が初めてということで、いい取り組みだと思うが、市のホームページまで見に行き、メールを立ち上げて意見を出すといった面倒な作業をしなくて済むように、例えば、SNS上で、直接非公開のメッセージを返信して意見を出せるようにする等の機能を検討してはどうか。

事務局

勉強していきたい。

○今後のまちづくりについて検討
(今後のまちづくり方策について)

横田 構成員

想定される事業ということで、なかなか具体的に書かれないのだろうと思うが、これまで行ってきたことから見えてきた課題を今後どのように解決していくのか等、今までとの違いを表現することはできないか。

事業課

記載内容を再検討する。

寺町 座長

今回の事後評価の手続きについては、適切に遂行されたと認めても宜しいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

次に、今後のまちづくり方策について、妥当であると認めてよろしいでしょうか。

構成員一同： 了解

寺町 座長

それでは、以上をもちまして次第4の議事を終了致します。

会 議 録

名 称	北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会
議 題	フォローアップ報告（H28年度完了地区）
開催日時	平成29年12月14日（木）
開催場所	北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム
出席者	<p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一（九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授） 牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授） 東 恭子（第10期 北九州ミズ21委員会 委員） 横田きみよ（コンセプトピディア 代表）</p> <p>フォローアップ担当課 教育委員会企画調整課（戸畑地区） 検討会事務局 建築都市局 まちづくり推進室 まちづくり推進課</p>
フォローアップ報告	<p>○フォローアップ報告について （事務局及び担当課より説明）</p> <p>昨年に事後評価を実施した地区のフォローアップについて、報告させていただきます。</p> <p>フォローアップにつきましては、事後評価の際に、推計値で評価を行っていたものについて、実測値が確定した段階で、確定値に置き換え、事後評価の確認を行うものです。</p> <p>今回の報告対象は、平成28年度完了の戸畑地区、八幡地区（第2期）の2地区でございます。</p> <p>それでは、報告に移ります。</p> <p>担当事業課から、戸畑地区からご報告させていただきます。</p> <p>【戸畑地区】</p> <p>戸畑地区を担当している教育委員会企画調整課の担当係長坂巻、私は井上です。よろしく申し上げます。</p> <p>昨年度事後報告をさせていただき、浅生二号公園の値が未確定でしたので、今年度確定値をご報告させていただきます。</p> <p>お配りしている資料のうち、戸畑地区とあるA3横の概要資料をご覧ください。</p> <p>戸畑地区では、公共施設等が集積する戸畑区役所周辺の魅力を高め、安全・安心に、市民が集いにぎわう交流のまちづくりを推進するという大目標のもと、図書館、道路、公園の整備を行い、4つの目標に対し、5つの指標を立てて、事後評価を行いました。</p> <p>うち一つの指標で推計値を使っていたため、今回確定値に置換え、評価の確認を行ったものです。</p> <p>目標3の指標4「スポーツ施設利用者数」をご覧ください。目標値190,000人に対し、評価時点の推計値264,000人でしたが、確定値288,000人で目標を大きく上回って達成しています。</p> <p>また、「事後評価時点以降の取組」の資料をご覧ください。</p>

施設を活用した賑わい創り事業の様子をご紹介します。

成果を持続させるために行うまちづくりの方策として、「賑わいの創出」「地域の活性化」「安全で安心な生活環境」を取り上げ、それぞれ改善策を講じました。

スポーツ施設では84の大会を誘致して施設を活用したほか、花壇の植栽や植え替え事業など、スポーツ以外にも地元団体と協働で催し物などを開催し、賑わいの創出や地域の活性化に寄与しました。

図書館に関しては、各種講座の開催や図書館秋祭り、クリスマス会などを行ったほか、地元の方と協働で蚤の市を実施しました。

また、「来訪者の移動円滑化及び回遊性の向上」については、案内標識の設置を行ったほか、実際に障害者の方々と一緒に道路のバリアフリー点検を実施し、視覚障害者誘導ブロックなどの改善を実施しました。

このほかの活動として、「防災機能等の周知」について市のホームページ、看板等でスポーツ施設が避難施設であることを引き続き市民に周知するとともに、災害時に有効に機能する施設となるようマニュアルの改正・整備を進め、実際に避難訓練等を行いました。

今後も地元の方と協働で事業を行いながら、施設を活用して戸畑地区の賑わい創りや地元活性化の推進を図ります。

構成員の
主なご意見

○フォローアップ報告に対する意見

【戸畑地区について】

- ・各種スポーツ大会の実施については気持ちが良いほど効果が出ている。来年度以降も同じように活用を続けていくのか。
 - ⇒ ・（事業担当課）平成28年度に引き続き平成29年度も同じように大会を誘致していきます。少し話は変わりますが、オリンピックなど大規模大会の誘致についてもタイの卓球チームやバレーボールチームなどの視察があり、とても良い感触を得ており、良い施設だと言ってもらえました。市民の方、市外の方に加え、世界的な大規模大会の利用についてもアピールし、北九州市はスポーツが盛んであるというPRをしていきたい。地元の方に対しても「戸畑あやめ」を植えたり、地域の方と一緒に協働して様々な植栽を行ったり、スポーツ以外についても連携を図りながら、地元の方に愛着を持っていただける施設になるよう、今後も協力して盛り上げていきたい。
- ・旧戸畑図書館の跡地について再利用の検討はされているか。
 - ⇒ ・まだ決まっていません。
- ・写真④スポーツセンターの近隣住民の方々への施設説明及び意見交換に関し、施設の説明をたくさん行っているということを知っている。この場でお礼を言いたい。
 - ⇒ ・ありがとうございます。

事務局

ありがとうございました。
(八幡地区の説明に続く)

会 議 録

名 称	北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会
議 題	フォローアップ報告（H28年度完了地区）
開催日時	平成29年12月14日（木）
開催場所	北九州市役所 5階 プレゼンテーションルーム
出席者	<p>北九州市都市再生整備計画事業事後評価検討会 構成員</p> <p>座長 寺町 賢一（九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授）</p> <p>牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 経済学科 准教授）</p> <p>東 恭子（第10期 北九州ミズ21委員会 委員）</p> <p>横田きみよ（コンセプトピディア 代表）</p> <p>フォローアップ担当課 建設局道路部道路計画課（八幡地区） 検討会事務局 建築都市局 まちづくり推進室 まちづくり推進課</p>
フォローアップ報告	<p>○フォローアップ報告について</p> <p>【八幡地区】</p> <p>八幡地区のフォローアップについて説明させていただきます。</p> <p>お手元のA3横の概要資料をご覧ください。</p> <p>八幡地区では、大目標として、環境首都を担う先進モデル地区としての整備を推進し、また、観光・文化施設の集積・機能の強化を図り、環境・観光・文化が融合した、市民の協働による、多くの人々が集う未来をつなぐまちづくりを目指すを掲げ、3つの目標に対し、3つの指標を立てて、事後評価を行いました。</p> <p>これらの内、2つの指標で推計値を使っていたため、今回、確定値に置き換え、評価の確認を行ったものです。</p> <p>指標2「観光・文化施設の来館者数」は、目標値 530,000 人/年に対し、評価時点の推計値 633,711 人/年が、確定値 673,087 人/年になっています。</p> <p>前回の評価時点の推計値から増加し、目標値をさらに上回ることができました。</p> <p>これは、新たなイベントとして、いのちのたび博物館での恐竜の特別展や皿倉山で山の日にイベントなどを開催したことが来館者数の増加につながったものと考えております。</p> <p>次に、指標3「市民参加の取組み数」は、目標値 2,500 人に対し、評価時点の推計値 2,720 人が、確定値 3,246 人になっています。</p> <p>こちらも前回の評価時点の推計値から増加し、目標値をさらに上回ることができました。</p> <p>これは、環境ミュージアムを拠点に環境学習をテーマとしたワークショップを継続して開催した成果だと考えております。</p> <p>次に、「事後評価時点以降の取組」の資料をご覧ください。</p> <p>今後のまちづくり方策の「市民との協働による環境共生型まちづくりの推進」について、平成29年度も継続して、環境ミュージアムを拠点に、環境学習をテーマとしたワークショップを開催しました。今後も継続してワークショップを開催し、市民の環境意識を向上し、市民との協働によるまちづくりにつなげていきたいと考えております。</p>

<p>構成員の 主なご意見</p>	<p>次に、「観光・文化施設が連携した観光振興の推進」について、今年の5月に皿倉山健康ウオークを開催し、2,600人もの方に参加いただきました。</p> <p>また、スタート・ゴール地点の東田大通公園では、飲食バザーなどのイベントも開催し、大変にぎわいました。</p> <p>次に、新たな取り組みとして、「皿倉八景選抜総選挙」を企画し、皿倉山の見所を掲載した、投票用紙付きの登山マップを作成しました。</p> <p>実際に歩いてもらい魅力的に感じた風景などに投票してもらうのもで、平成29年10月～平成30年9月の間で、皿倉山ビジターセンターなどに投票所を設けております。</p> <p>また、関連イベントとしてウオークイベントも開催し、さらなるにぎわいづくりに取り組みました。</p> <p>今後も観光・文化施設の連携を図り、環境・観光・文化が融合した、市民との協働による、多くの人が集うまちづくりを継続して実施してまいりたいと考えております。</p> <p>○フォローアップ報告に対する意見</p> <p>【八幡地区について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皿倉山のウオークイベントと投票イベントの活動主体はどこですか。 ⇒ 八幡東区役所の総務企画課です。 ・ ウオークイベント、投票イベント両方ともそうですか。 ⇒ はい。そうです。 ・ 数字が分からなくても感覚でかまいませんが、いのちのたび博物館で海外からの観光客数を教えてください。 ⇒ 26年度以降海外の観光客数が増えていると聞いてまして、全体で26年度以降6万人くらい増加しているうちの2割～3割くらいかと思えます。 <p>事務局</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今後の手続きについて説明します。</p> <p>フォローアップ報告書は国土交通省に提出するとともに、本市の事後評価のホームページに掲載させていただくこととしております。以上で、ご報告を終わります。</p>
-----------------------	---